臺灣日日新報

本紙は毎日十二頁人口四萬以上の地方新聞

全生物病害

富岡高等農林學校教授 **遠藤茂** 著 最新刊

菌類・細菌・粘菌・線蟲・原生動物・藻類・地衣類・寄生種子植物・病害の豫防及治療

菊判洋布函入 紙數三五〇頁 挿畫三〇圖 定價二圓二十錢 送料二十一錢

帶植物寫眞集

工藤捕九郎著

第一輯 第二輯 第三輯 第四輯 第五輯 第六輯 第七輯 第八輯 第九輯 第十輯 第十一輯 第十二輯

各輯定價一圓五十錢 送料二錢

東京市神田區錦町一丁目 **明文堂**

實用農藝全書

（定價各冊一圓二十錢 送料各冊十錢）

- 果樹園藝 西田悅夫著
- 土壤 松木五樓著
- 肥料 高石發著
- 農用昆蟲 森周六著
- 農具 野中善兵衛著
- 畜產 美川重夫、後藤新著

農業各部門の實用知識を簡約に記述せんとの目的の下に編纂したもので、各冊獨立の體裁を有し、且つ各冊共通の體裁を有す。

園藝學

東京帝大 田中巖一郎著 菊判洋布函入 四六〇頁 定價二圓五十錢 送料二十錢

蔬菜栽培精義

東京帝大 田中巖一郎著 菊判洋布函入 四六〇頁 定價二圓五十錢 送料二十錢

種子の研究

二川原久作著 菊判洋布函入 四六〇頁 定價二圓五十錢 送料二十錢

蔬菜栽培精義

木內山泰介著 菊判洋布函入 四六〇頁 定價一圓五十錢 送料二十錢

デリスの栽培法

石貝邦作（合著） 菊判洋布函入 四六〇頁 定價一圓五十錢 送料二十錢

實驗畑作新說

農學士 宮田鐵七郎著 菊判洋布函入 四六〇頁 定價一圓五十錢 送料二十錢

園藝害虫圖篇

農學博士 芝田清吾著 菊判洋布函入 四六〇頁 定價一圓五十錢 送料二十錢

畜產學原論

東京帝大 福田次郎著 菊判洋布函入 四六〇頁 定價一圓五十錢 送料二十錢

家畜產婆の手引

獸醫學博士 白井虹白著 菊判洋布函入 四六〇頁 定價一圓五十錢 送料二十錢

陸地測量學

農學博士 齋藤道雄著 菊判洋布函入 四六〇頁 定價一圓五十錢 送料二十錢

酒精製造法

農學士 小穴富司雄著 菊判洋布函入 四六〇頁 定價二圓 送料二十錢

世界農業史

グラス原著 菅菊太郎譯 菊判洋布函入 四六〇頁 定價一圓五十錢 送料二十錢

園藝學

東京帝大 田中巖一郎著 菊判洋布函入 四六〇頁 定價一圓五十錢 送料二十錢

再版訂正

農學士 宮田鐵七郎著 菊判洋布函入 四六〇頁 定價一圓五十錢 送料二十錢

畜產學

農學博士 福田次郎著 菊判洋布函入 四六〇頁 定價一圓五十錢 送料二十錢

畜產學

農學博士 福田次郎著 菊判洋布函入 四六〇頁 定價一圓五十錢 送料二十錢

增訂六版

東京帝大 田中巖一郎著 菊判洋布函入 四六〇頁 定價一圓五十錢 送料二十錢

園藝學

議會だけ濟ませ 現内閣は後退か

風雨強かるべきも不信任案は出まい

重要案件の運命

解散は臆想されず

【東京十日發】來る二十一日の議會休會明けの迫るに伴つて政界の雲行きは俄に險惡化し早くも政變を思はせる空氣さへ漂ひ始めたが、今日の情勢より觀ると政變は果して起るかどうか、今議會で最も問題となるべき議案は二十一日の開會を待つて見ると大體は豫算關係の諸案と豫算に關聯ある諸案とそれに政府提出の重要法案數件を加へるに過ぎないから、議會の空氣は案外平穩に推移するものと觀られ、從つて政變の如きも起らないものと觀られてゐる

【東京十日發】休會明け議會を目前に控へ政界の空氣一變したが、今日の情勢より觀ると政變は起らないものと觀られ、從つて政變の如きも起らないものと觀られてゐる

波瀾 は豫想されるも先づ不信任案提出にまで發展することは伴つて政界の雲行きは俄に險惡化し早くも政變を思はせる空氣さへ漂ひ始めたが、今日の情勢より觀ると政變は起らないものと觀られてゐる

解散 假令政界の何處にあらうとも、この點從來方針の如何に拘はらず、政府與黨の意嚮に重きを置くべきは當然のことであるから、政府與黨の意嚮が解散に傾かない限り政府が敢て解散を斷行することは先づないと今日のところ觀測されてゐる、しかし政變は當然總選擧に出るだらうとまたさうしなければならぬ事情にあることも事實である

觀測 も一致してゐる、又政友民政兩黨が今議會を通じ極力政府攻撃の態度に出ることは必至と觀られてゐるが、兩黨の態度は果して如何なる程度まで政府攻撃を續けるかに注目されてゐる

目標 を議會後の政局に置いてゐることも想像に難くない所であり、或は議會後に持越さるべき行政改革案の根本的解決を政府が如何にするかを照し合せ見るに議會前半は切ぬけても議會後早い機會に政變は免かれぬだらうと云ふのが一般の一致した觀測となつて居り、結局議會中の滿身創痍がその議會後にものを云ふことになりはしないだらうかと見られてゐる

財政演說の草案は大體決定 九日の大藏省議で

【東京十日發】大藏省では九日午後省議を開き休會明け劈頭に於ける馬場藏相の大演說草案に對し審議したが結局次の如く決定した

一、公債政策及び低金利政策

一、金融機關の強化整備等に付いて

一、外國貿易及び爲替政策

一、貿易に付いては悲觀する要はない、今後は永續主義の貿易政策に即り一層貿易の伸張に努力する旨を述べ、今回爲替管理法に依つて輸入統制を強化するの餘地なき狀態に至つた經過を述べ、業者及び國民一般の諒解を求める

一、將來の財政計畫……これに付いては具體的說明を爲すことは困難だが後年度財政計畫の檢討すべき狀態に至つた經過を述べ、豫算外公債整理の問題、公債整理額其他歳入計畫を根本的に檢討して大體に於て支障なきやう考慮を拂つた旨を說明する

十八日頃に訪問 首相が兩藏總裁を

【東京十日發】閣內にあつては九日午後省議を開き休會明け劈頭に於ける馬場藏相の大演說草案に對し審議したが結局次の如く決定した

一、十二年度豫算の說明

一、十二年度豫算の說明

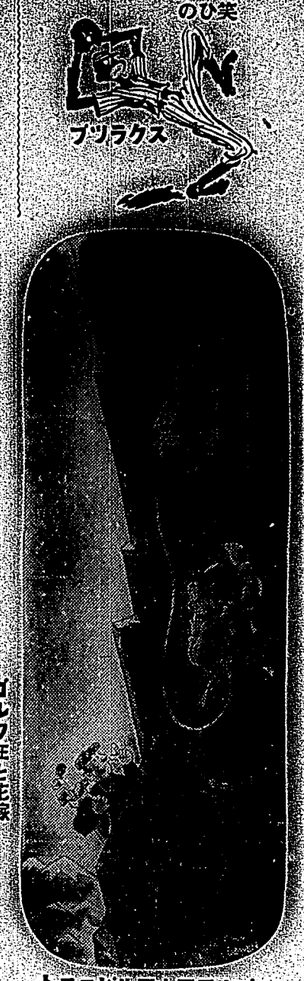
大藏の想定問答 稅制改革案議會通過に大童

【東京十日發】明年度より實施すべき豫算的稅制改革案に關しては

外交問題 之が發展性如何は當局に於ても觀察を異にし、從つて對外態度に於ても自ら差異あるやに觀られてゐるが、議會の最大問題となるべきものの筆頭は外交問題であらう、今日の情勢より觀ると政變は起らないものと

のび笑

ブツラクス



トスニピルアとアフルゴ

あゝ生芝に上のこいーおゝアフルゴ……「……？」「？」いかる

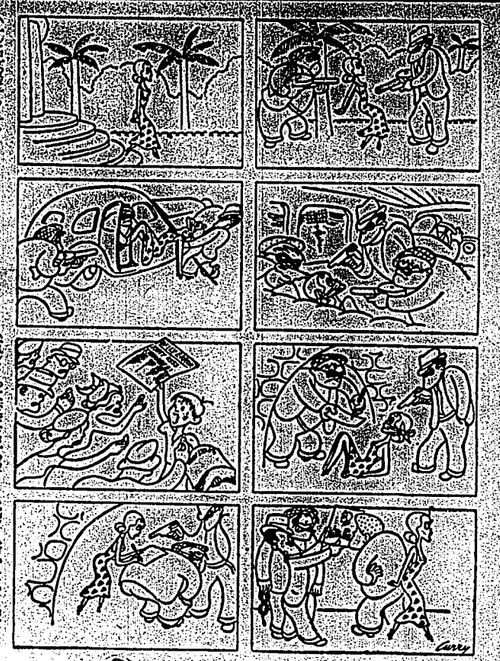
サイン・ギャング

(一)呼和現はれたヤング

(二)「何を捜索ふる？

(三)こゝに捨て

(四)エヘンたうとう彼女のサインを得た



(五)さあ大変だ名女優ギッティがさらはれた

(六)さあ一同へ

(七)捨かないと殺してしまふぞ

男性對女性

(一)名女優キッティさんの外出かけ

(二)さあ一同へ

(三)捨かないと殺してしまふぞ

(四)エヘンたうとう彼女のサインを得た

(五)さあ大変だ名女優ギッティがさらはれた

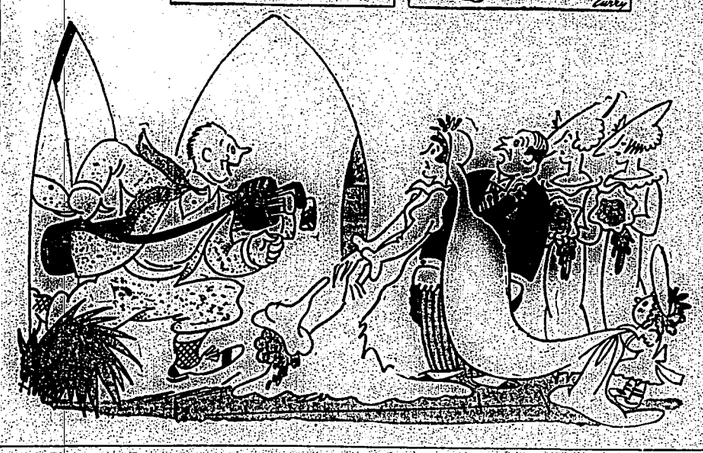
(六)こゝに捨て

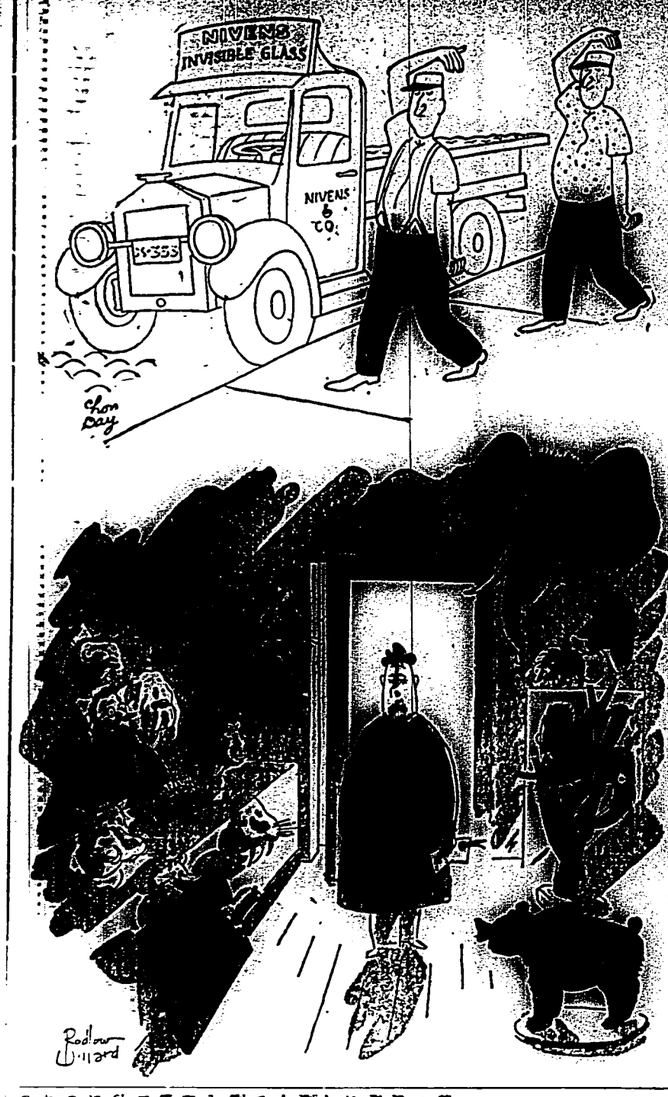
(七)何を捜索ふる？

(八)「……？」「？」いかる

ゴルフ狂と花嫁

「オイしまつた！」と叫んだ時は面白かつたので思ひ切つて結婚したが……ナゝことを忘れてゐたんだ





新發明の見えない硝子を運搬するです

似たり依つたり

猛獣狩の名人ルーズベルトさんはいづこに居られるですか

産業貿易擴充が 現下の急務

而も内外情勢は前途一刻の倫安を許さず

(上)

商工大臣　小川鄉太郎

我國貿易

を見るに十一月來の累計に於て輸出は二十億に滿たず、入口額は多額なる我國に於て其の國民經濟の健全なる發展を圖り國運の隆昌を期するが爲には

産業貿易

の振興に俟つ外なきことが最も必要である。幸にして我國に於ては諸外國の多くが今猛烈的不況裡を脫し得ざるに拘らず兩三年來比較的好調を持續しつゝあることは、我國の爲めに慶賀に堪へざる次第であるが、方今の情勢に鑑みる時は國防、交、財政、基礎強化の必要と相俟つて益〻貿易の振興を圖る爲め從來の因襲的方策を徹底的に改革することが刻下緊急の務であると思ふ。先づ昭和十一年における

我國貿易

の概況を述べんに、輸出は二十四億九千六百萬圓に上り、同期間に於ける貿易額としては從前の最高額に達してゐるが、輸出の增加率は從前に比し著しく鈍化し、反て輸入の增勢は從前に於ては前年同期の五千萬圓に上る出超に反し、六千二百萬圓の入超に轉ずるに至つたのである。斯くの如く輸入の好調なるに反し輸出の伸力が鈍化したことは主として近年に於ける

國際貿易情勢

に基き本邦品に對する各國の輸入防遏措置が一昨年來益〻強化し來つたことに基因するのであつて昭和十一年に於ても月次貿易、日額收支等何れも未だ好轉せず、米國に於ては本邦品に對する關稅引上及び

對支經濟關係

の調整に關する

日支會商

の開始等、我國貿易振興に關し好轉の機運に向ふべき諸般の情勢あるに拘らず、輸出の增加率が從前に比し著しく鈍化し來つたことは、一面

國內產業

の健全なる基礎を確立する爲には最も必要なる事であつて之が爲には官民の一致協力と貿易行政の巧妙なる運用に俟たねばならぬ。

波しぶき（二）

（第四回）

神邦悠完二作

伊藤順世画

「もし和尚様、牛沢部さんと仰しやる方がお見えでございまし。」

「お生沢部さんが來られたか。よし、直ぐにこれへお通し申せ。」

「かしこまりました。」

一門が出て行つてしまふと、日道はお經の稽古を見ながら獨り言。

「扨も來たるだが、何の用事好いでであるまいな。」

「あの人も思い方に掛けちゃ、人一倍慾深の勝つてゐる人ごゝろ。」

「おれもさうは思つてゐるが、寺の者はともかく、參詣の衆に頼られると何かと都合がよくねえからなあ。」

「へゝゝ。」

「おめへをけふここへ呼んだ外ぢやアねえか、今もお經に話した通り、ちよい、氣のいゝ旦那ぢやねえんだ。」

「そいつア有難え。どこでげす。」

「まさか急がねえがいゝ。どうで撮所は先へ行つてから貌くようから、今夜十時を合圖にもう一度ここの坂下まで來て待つてゐろいゝ。」

「坂下でげすね。」

「さうだ。鄉全にも綿口も皆行くことになつてゐるが、そのつもりで氣を締めてゐの。」

「へえ、そりやもう大丈夫でげすが、和尚さんおいでなさるんで……」

「行け。おれもお經へ行くことになつてゐるが、とかく近頃アかういふ時勢ゆゑ、色氣より慾氣だからなア。」

「そりやアもうその通りでごんすとも。慾氣が何よりの近道でさア。それにしても和尚さん、その先といふなアどうちの方なんで……」

「まアそんまり訊かねえがいゝ。聞かねえでも和尚に招られて行くうちにやア、半時と経たねえうちに向ふへ着くんだ。それより何より、忘れてならねえ物がひとつあるんだぜ。」

「何んでげす。」

「無駄に騒れきつてゐる。面きんがあつてこんな話でげすが、そりやア和尚さん、本當でげすかい。」

「當に決まつてゐるじやねえか。」

「時に牛沢……」

（前號に續く）

御殿女中

(156)

邦枝完二作

伊藤順世画

淋病

根治確決局所新療法

世界驚異の尿道殺菌偉力

數十萬の全治者例に明白

淋病の起因菌は、淋菌と呼ばれる尿道の粘膜を侵す尿道の粘膜を侵す淋菌の發見は、一八七九年ノルウェーの醫學者ナイセルの發見に係るもので、不完全なる一般內服藥にては殺菌し難く、從來の殺菌療法にては、淋病治療の最大難關とする尿道の後部に潜伏する淋菌の殺滅は殆ど不可能とされてゐたが、ケンゴールは、この淋菌に對して特殊の作用を有し、淋菌の侵入した尿道粘膜に最後の一滴まで浸透し、淋菌に對して強烈なる殺菌力を發揮し、尿道後部に潜伏する淋菌をも完全に殺滅し、尿道粘膜の組織を健全に恢復せしめるものである。

急性淋病に對し特質最強點

初感染、慢性淋病の別なく、尿道口の發赤腫脹を現し、膿汁を排出し、尿痛を訴へ、頻尿を來すが如きは、すべて淋病の症狀であるが、ケンゴールは、これ等の症狀を、服用後二、三日にして著しく緩和し、一週間乃至十日にして、膿汁の排出を全く杜絶し、尿痛、頻尿を治癒せしめるものである。

初感染、慢性

淋病に對し特質最強點

初感染、慢性淋病の別なく、尿道口の發赤腫脹を現し、膿汁を排出し、尿痛を訴へ、頻尿を來すが如きは、すべて淋病の症狀であるが、ケンゴールは、これ等の症狀を、服用後二、三日にして著しく緩和し、一週間乃至十日にして、膿汁の排出を全く杜絶し、尿痛、頻尿を治癒せしめるものである。

急性

淋病に對し特質最強點

初感染、慢性淋病の別なく、尿道口の發赤腫脹を現し、膿汁を排出し、尿痛を訴へ、頻尿を來すが如きは、すべて淋病の症狀であるが、ケンゴールは、これ等の症狀を、服用後二、三日にして著しく緩和し、一週間乃至十日にして、膿汁の排出を全く杜絶し、尿痛、頻尿を治癒せしめるものである。

金量は迅速に尿道組織の各腺に亘り滲透し、一滴たりとも尿道後面に留らぬケンゴールに危險の憂い寒末も不要、無つて全專門醫學の實驗並に治療患者數十萬の例をもつ長き歷史に基くのである。

患者自ら覺醒の上本然の治療に立直しを促す

強靱の淋菌を殺滅する本劑には、患者は苦惱を最少期間に除き得る上の經濟負擔に狂喜し、更に徹底的なる再發の封塞に驚歎するの外なき程度に於て淋菌の一滴をも殘さず殺滅するを以て、從來の如き再發の憂なく、醫學的に全治の證明を與へられるのである。

淋病の治療と恐れ

根治は一日も速かに

一日遲れば一日の治療を要す淋病の進行性を認識し、深部殺菌の徹底力に於て唯一無二の局所藥本劑の眞効を求めて根治せよ

ケンゴールは特效藥ですから藥店には本品の代用品は置いてありません。購買の際は必ず名前を確かめて下さい。

代用藥絶對排斥

ケンゴール

ンギンオラブ

ルーゴンケ

長院病原吉廓遊原吉京東前

明發大の生畢生先榮蘇佐

新發賣（普及品）一圓九十錢

注意―御註文には男子用（一號、二號）、婦人用（三號）の別を御明記下さい。

東京市芝區濱町二丁目十番地

―藥價―

發賣元　河原商店

二五又人的一八日最新四合錢

五〇又人的五日最七錢

八〇又人的五日最十錢

二五又人的一八日最新四合錢

五〇又人的五日最七錢

八〇又人的五日最十錢

日東製藥會社

文獻進呈

全國藥店にて販賣す。發賣の前日東京藥業會社員（

花に濃涙あり

(77)

片岡鐵兵作

木一彌畫

なれぜぬ(上)

たゝ。

「梅本さんからの電話だつたの、父が何でもなく歸宅から傷つたんだつて」

「それだけのお電話？」

つんとして訊いた。

「ええ、それだけよ。あたしすつかり安心しちやつた」

うれしさうである。生き生きと輝いてゐる。何を電話で話したのだらう。電話で話しただけのことで、今治びたばかりの男の顏に全身溢れたやうに艶々しく見える妻子を、島枝は憎らしいとさへ思つた。

すつかり外に出る支度の出來た島枝にはじめて氣がついて、靜子は、

「いくら醫が下つたつて、今から外に出るのは無茶よ」

「だつて歩けるんですもの。あたしはもう看護婦さんに許可をお願ひしてきた」

大變さんなら、先きほどのお客さまと一緒に玄關の入口から何處かへ歸つて行かれたやうでしたよ」

「梅本氏を斷つて云々」

と言葉を濁すと、自分でも說明しない感情で、身のまはりが暗くなるのだつた。

うまく出拔かれてゐるのが自分、そんな氣がする。

いかにも梅本と靜子と二人して島枝をいたはりかばはうやうな態度をしながらかげではあの二人の間に義々と醫が進行してゐるのではないか。昨夜は、靜子の歸りが遲いので、見舞ひに來た看護婦さんに、

「靜子さんどうしたの、あのお二人ね、ずつと前からの知合ひなんですつてね」

と、何氣なく言つたのを、島枝は聞き咎めて、

「知合ひつて？」

「梅本さんと靜子さんよ」

「あたしの自慢よ。生きるのも死ぬのも一緒」

島枝は繰返して云つた。

今は世方がなかつた。この上問きとめたら嫉妬になる。

どうして斷らうとヒステリックになるのか、靜子は悲しくなつた。

急に氣持で外に出た。タクシーに乘らうと云つても島枝はきかないのだ。

丸の内の方へ、東京駅へだんだん近づいて行く。どこへ行くつもりなのだらう。島枝は靜子の存在を全然無視したやうに、默つてゆつくり歩いて行く。

靜子はついて行つた。島枝が怒つてゐるのは靜子に對してだと氣が分り、靜子は腹も立けさうである。

「靜かにして！」

「先生に一度さう言つてからでなくちや、わたしの自慢よ。生きるのも死ぬのも一緒」

島枝は繰返して云つた。

今は世方がなかつた。この上問きとめたら嫉妬になる。

どうして斷らうとヒステリックになるのか、靜子は悲しくなつた。

急に氣持で外に出た。タクシーに乘らうと云つても島枝はきかないのだ。

丸の内の方へ、東京駅へだんだん近づいて行く。どこへ行くつもりなのだらう。島枝は靜子の存在を全然無視したやうに、默つてゆつくり歩いて行く。

靜子はついて行つた。島枝が怒つてゐるのは靜子に對してだと氣が分り、靜子は腹も立けさうである。

ラヂオ

午前の部

【六・三〇】朝の挨拶、ラヂオ體操、今朝のお天氣のお知らせ・台北

夜間の部

【五・〇〇】子供の時間(大阪)　連續童話「冬の巻」日出ちやんのお手柄(二)(佐々木邦作)ベテキスト第二六頁)　大阪放送局演劇研究會

【五・二〇】コドモの新聞(東京)

【五・三五】趣味講演(東京)　醫學(東京)

【六・〇〇】子供の時間(台北)　お話「地球と生物」(平川雲)

【六・三〇】講演の夕(台北)　「國語講習會第二部」(三浦伴七郎)　「台北帝國大學教授會議席上の挨拶」(幣原坦)　「台湾の産業」(楠井隆三)　「台湾の教育」(安藤廣太郎)

【七・二〇】吹奏樂大演奏會(指揮・齋藤秀雄)　大阪放送局團(東京)　三浦環獨唱會(東京)

【八・〇〇】講談(東京)　時報(東京)　五次郎・神田伯山

【八・二〇】新日本音樂(台北)　一初冬・大和田建樹作詞・宮城道雄作曲・眼及爭本・田中榮江)　尊本・野長瀬・尺八・宮城道雄)　千代の鶴(藤間流・吾妻徳穂振付・宮城道雄作曲・箏・吉村道・尺八・大和田さく哨笛・三絃・田中春江、今晉悦子)　九〇〇・浦安舞(台北)　(台北・台南・初春・竹二日)

【九・〇〇】マイナー・モニカ調奏・台中のみやび(内藤郎)　一吹笛峠・古關裕而作曲)　二ラモーのタンボリン・根岸(ラモー作曲)　三、夕日は落ちて(江口夜詩作曲)　四、緑の地平線(古賀政男作曲)　五、晉好景(多忠亮作曲)

相談

身の上

相談相手もなく思案に餘る問題上の問題で御相談になりたい方は手紙で身の上相談係別項申込み下さい、電話や面會は御斷りします。

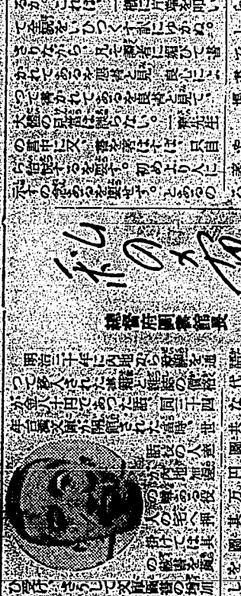
婚約者の不品行に迷ふ

二十二になつた女です。女學校を出て家事手傳ひをして縁談をまつてゐる中ほつ〳〵縁談がありましたけれど私は内地へ行つてもつと勉強したいと云つて斷つてゐる中學時代の先生の御世話で氣樂に働いてゐる中女學校時代の先生の御世話で氣樂に働いてゐる中女學校時代の先生の御世話で氣樂に働いてゐる中女學校

新潮文庫最新刊

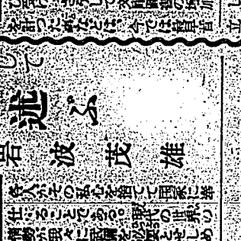
漫畫青年

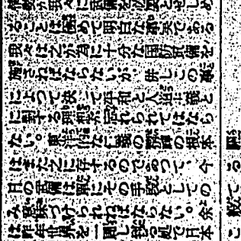
大仏と風雲

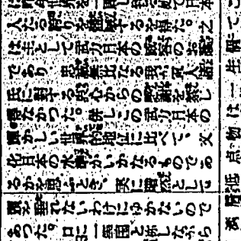


所懐を述ぶ

岩波茂雄







新潮社

発行所 東京都新宿区矢来町七一

有朋堂

発行所 東京都千代田区神田三崎町二ノ一八

春陽堂

発行所 東京都中央区日本橋二丁目

文藝春秋社

発行所 東京都千代田区神田三崎町二ノ一八

中央公論社

発行所 東京都千代田区大手町一ノ一

改造社

発行所 東京都千代田区神田三崎町二ノ一八

岩波書店

発行所 東京都千代田区一ツ橋二ノ五

平凡社

発行所 東京都千代田区神田三崎町二ノ一八

第一書房

発行所 東京都千代田区神田三崎町二ノ一八

白水社

発行所 東京都千代田区神田三崎町二ノ一八

三笠書房

発行所 東京都千代田区神田三崎町二ノ一八

日本評論社

発行所 東京都千代田区神田三崎町二ノ一八

岩波書店

発行所 東京都千代田区一ツ橋二ノ五

改造社

発行所 東京都千代田区神田三崎町二ノ一八

春陽堂

発行所 東京都中央区日本橋二丁目

新潮社

発行所 東京都新宿区矢来町七一

有朋堂

発行所 東京都千代田区神田三崎町二ノ一八

文藝春秋社

発行所 東京都千代田区神田三崎町二ノ一八

中央公論社

発行所 東京都千代田区大手町一ノ一

改造社

発行所 東京都千代田区神田三崎町二ノ一八

岩波書店

発行所 東京都千代田区一ツ橋二ノ五

平凡社

発行所 東京都千代田区神田三崎町二ノ一八

第一書房

発行所 東京都千代田区神田三崎町二ノ一八

白水社

発行所 東京都千代田区神田三崎町二ノ一八

三笠書房

発行所 東京都千代田区神田三崎町二ノ一八

日本評論社

発行所 東京都千代田区神田三崎町二ノ一八

美しい印刷と書物

「日本印刷需要家年鑑」を手にして

西川滿

美しい書物とは、美しい書物のことである。美しい書物とは、内容と、紙質と、印刷と、製本と、すべてが渾然合して、一冊の美しい書物を形成するのである。

美しい書物を作るためには、著者と、装幀家と、印刷者と、製本者と、この四者の協力が必要である。